

# しんりん

2017年8月号

vol.112

〒949-8311 新潟県中魚沼郡津南町中深見乙2176  
発行/津南町森林組合 TEL.025-765-2510



釜川の頭を望む刈払作業

## 津南らしい夏を迎えて

代表理事組合長 涌井 九八郎

梅雨時期後半では日本列島のどこかで集中豪雨による被害が毎年のように起きています。特に今年は筑後川上流地域の福岡県、大分県は大災害となり多くの人命が犠牲となつてしまいました。

中でも日田杉を初め国内有数となる森林林業地帯の斜面が崩落し、流れ出た立木が橋や家屋にせき止められ大災害を引き起こしたことは残念でなりません。

豪雨こそ必要ありませんが、農業地域である本町においてはやはり暑い夏も必要です。我々人間にとっては暑い夏でも作物は待ち望んでいた季節であり秋の稔りには欠かせません。作物に負けずに夏を楽しみましょう。

なお、去る6月24日津南町文化センターにおいて、組合創立50周年記念式典を無事終えることができました。これも偏に組合員の皆様から支えられて来たお陰であり深く感謝申し上げます。併せて食品部門において日本食研HD(株)様販売額15億円達成祝賀会も開催させて頂きました。県外からお出で頂いた多くのお客様からは田畑の美しさや河岸段丘の景観、ジオパークの取り組みに驚かれておりました。

本年も森林整備においては25ヘクタールの実施を計画し、現在作業中でもあります。計画的な整備が大災害を防ぎ水源涵養や環境保全にもつながります。来年以降に向けてもご協力を宜しくお願い申し上げます。残暑見舞いとさせていただきます。



日本食研ホールディングス(株)  
大沢会長様、大沢社長様、大沢裕一朗様



大沢一彦様



上村町長様



島田正八様



村松連合会会長様



山田龍一様



滝沢完治様

6月24日、「組合創立50周年記念式典」を津南町文化センターにおいて開催致しました。  
当日は来賓の皆様をはじめ総代、関連団体、役職員の313名の大勢の参加を頂きましたが特に日本食研関係の皆様方には遠方より来町頂き

式典に華を添えて頂きました。  
昭和41年組合設立より半世紀、多くの方々のご理解とご支援により50周年を迎えることができ深く感謝申し上げます。今後も更なる発展を目指し役員一同努力してまいります。

# 創立50周年記念式典開催

## 創立50周年記念表彰 受賞者

(敬称略)

賞名	受賞者	内容
特別功労賞	愛媛県 日本食研 ホールディングス(株) 代表取締役会長 大沢 一彦	農産物の販売に先導的な役割を果たし、組合売上に貢献したことによる
	寺 石 滝沢 完治	組合設立以来、役職員として町の林業・木材産業の振興に貢献したことによる
	反 里 小林三喜男(故)	平成13年より4期に亘り組合長として町の森林林業発展に寄与したことによる
緑賞	宮野原 島田 正八	森林経営計画の策定により森林整備を積極的に進め、町森林整備の指導的役割を果たしたことによる

賞名	受賞者	内容
紅賞	結 東 山田 龍一	役員3期以上
	田 中 清水 迪男	
	割 野 涌井 義男	
	赤 沢 草津 進	
感謝状	正 面 山田 滝蔵	総代10期以上
	正 面 山田 清治	
	卯之木 宮澤 貞史	
	太田新田 藤ノ木輝夫	
	大赤沢 石沢 勇	
	寺 石 石澤 和大	
	寺 石 涌井 莊七郎	
子 種 涌井 政宏		



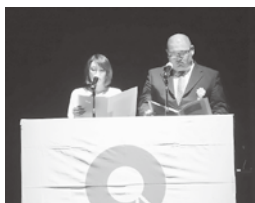
# 日本食研ホールディングス(株)様 販売額15億円達成祝賀会が 行われました

この度日本食研 HD (株)様への年間販売額がお陰様をもちまして、ついに 15 億円を達成する事ができました。大沢会長様御一行が組合創立 50 周年記念式典に御来森頂く機会に合わせ、達成祝賀会をニュー・グリーンピア津南に於いて開催いたしました。祝賀会には大沢会長様、大沢社長様、大沢裕一朗様そして大沢会長様のご友人を多数お迎えいたしました。合わせて津南商品拡販コンテスト優秀者の皆様にご出席いただき盛大に開催する事ができました。

大沢社長様への感謝状贈呈、コンテスト優秀者様への表彰、伊藤嘉晃様・涌井晴美様の歌謡ショー、大盛り上がりとなった大宝くじ大会などで盛会のうちに終了する事ができました。



さらに販売額 20 億円の目標が発表されましたが、感謝の気持ちと合わせ、責任の重さと目標達成のため職員一同気を引き締めてまいりたいと思います。



発表サークルは 8 社、地区大会常連のレベルが高い企業が揃っている中、プラス 1 サークルは見事『審査員特別賞』を頂きました。  
今後も QC 活動の継続で、品質向上とコスト低減、さらには職員の問題改善能力の向上に努めたいと思います。

講師を招いた勉強会や外部の研修会に参加することで、職員一人一人のスキルと現場力が高まり、この度目標であった、新潟地区大会発表に参加することができました。  
サークル名『プラス 1 サークル』  
テーマ『ビビンバ 250g のリパックの低減』

特産部では、5 年前より QC 活動を部門方針として掲げております。  
現在組合では、13 のサークルが日々の仕事内容の問題点、改善点等を洗い出し、年間 2 テーマを目標に活動しています。

## 特産部 NEWS

初 QC サークル  
新潟地区大会  
参加!!



# 「自然でんき」でカーボンオフセット

通信会社のソフトバンク㈱ではユーザー向けに、この2月より「自然でんき」という電気事業を始めました。

そこで購入された電気代から、自分が支援したい環境保全団体のカーボンオフセットを毎月50円寄附できると言うシステムがあり、7月6日津南町の「苗場山麓・竜神の森プロジェクト」の取材に、ソフトバンク㈱様と、カーボンオフセット取組み支援をされているカルネコ㈱様がおいでになりました。

なじよもんや、この事業名の由来である竜ヶ窪、妙法地区での伐採現場などを見学し、津南の歴史や自然を見ていただくなかで、津南の自然の美しさや、美味しい水やお米などはかけがえない財産であり、いつまでも残してほしいと話されました。



なじよもんで津南の歴史の説明に感嘆の声



竜ヶ窪のほとりで森林浴



カーボンオフセット基金を活かす森林作業現場を視察

地球温暖化が騒がれるなか、自然環境を守るうえで欠かせない、森林整備から生まれる水や二酸化炭素の吸収も今後重要性が増すとのことでした。

「雪国が100年後も雪国であるために」をスローガンに始めた苗場山麓・竜神の森プロジェクトも6年目を迎えました。今後もっと身近な人たちや遠くからの来町者の方々にもこの取組みをご理解いただき、津南町発信でカーボンオフセットが広まるよう継続出来ればと思います。

今回の取材は秋頃に、「ソフトバンクニュース」の中で紹介される予定とのこと。是非チェックを!!

# 苗場登山道刈払

7月中旬に大赤沢、湯沢、黒滝、見倉、小松原登山口の、登山道刈払を行いました。霧の塔付近にはまだ残雪があり

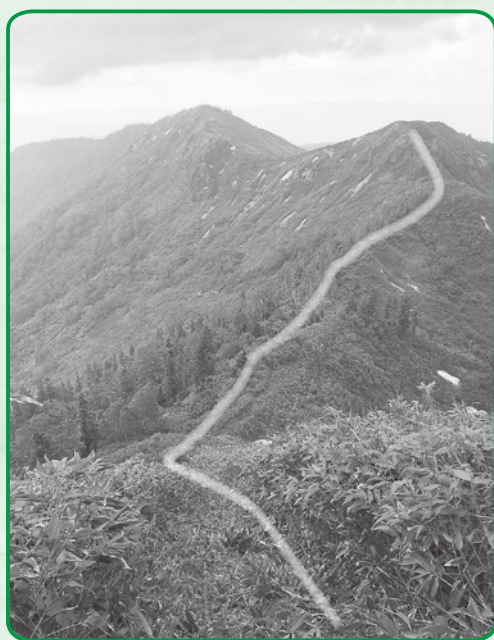


道をふさぐ小枝や倒木に注意し作業中

ました。また、頂上付近の新しい木道を現在製作中で、8月末には敷設の予定です。



木道準備中!!



刈払後の尾根、霧の塔から三ノ山(日蔭山)を望む



暑い夏に  
練梅でさっぱり！  
なめこを食べよう！！

## ～なめこのねばねば和え～

### 材料(2人分)

- おぼろ豆腐……………1丁
- なめこ……………100g
- 長いも……………100g
- 納豆……………100g
- おくら……………4本

●練梅……………小さじ1杯

●麵つゆ……………適量

<トッピング>

・万能ねぎ ・きざみのり

・みょうが

※トッピングはお好みの量でお楽しみ下さい



### 作り方

- ①なめこを茹で麵つゆに漬けておく
- ②長いもをする
- ③おくらを茹で5mm幅に切る
- ④おぼろ豆腐を器に盛る
- ⑤なめこ、おくら、長いも、納豆、練梅をおぼろ豆腐の上に盛り付ける  
※お好みにより混ぜてからおぼろ豆腐に盛り付けても美味しく頂けます
- ⑥麵つゆをかけ味を調える
- ⑦万能ねぎ、きざみのり、みょうがをトッピングする

おぼろ豆腐だけでなく、お蕎麦などでもお楽しみいただけます。



## 表彰状をいただきました～(^^)



8月1日、(株)かんぽ生命保険長岡支店長篠田様がお来森され、平成29年度ラジオ体操優良団体として組合が表彰されました。当組合は30年以上前より毎朝ラジ



オ体操を実施しており、今回の受賞となりました。今後も職員の健康増進対策として取り組んでまいります。『継続は力なり!!』

## 特産協議会研修

7月27日、28日と特産協議会の研修で長野県を訪れました。今回の研修では、新潟県とともに、きのこ生産量が多い長野県の量販店を見学し、他産地のきのこを見て、いい刺激を受けることができました。そして、養命酒の製造工場と津南町のトマトも使用されているカゴメの工場を見学してきました。どちらも山の中の自然豊かなところでしたが、最新鋭の機械設備などが導入され、スピードと精度に圧倒され、広いフロアに人がほとんどいない光景が印象的でした。今回の研修で体験したものを今後、活かしていきたいと思えます。



# 薬用植物編



## <その3> マタタビ

マタタビは津南地域でも秋山郷や志久見川の奥地など谷深い溪流沿いの斜面に自生しており、近年は栽培している人もあり、その実が町内の直売場にも見られます。

マタタビ科には山の果実の王様といわれるサルナシ(こくわ)やキウイフルーツも同じ仲間です。果実を輪切りにしてみると良くわかります。

名前の由来については、昔旅人がマタタビを食べたところ疲れが取れて「また旅ができた」ということで「またたび」になったと言われており、元々はアイヌ語のマタタンブが転訛したものではないかとの説もあります。

このマタタビ、ネコの好物として誰でも知っているところですが、これはマタタビの蔓や果実に含まれるマタビラクトンという成分が脳をマヒさせ眠気を起こす作

用があり、ネコ科全体に効果があるようです。

薬効について中国ではこれを木天蓼という生薬として利用しており、体を温めて血行を良くし、強心と利尿効果があると云われていますが、この辺では主に果実を塩漬けし酒のつまみにするほか、精力剤として利用しています。

生薬の木天蓼はこの辺でいう「花マタタビ」(花が咲く直前、子房にマタタビアブラムシが産卵し虫こぶ状になったもの)を収穫し熱湯に通し乾燥した物を利用します。

20数年前福島県川俣町や飯館村を視察していた際、道の両側にマタタビの実が鈴なりに延々と続いており、地元の人にこれを利用しないのか訪ねたところ「ネコのおもちゃだろう」という返事。これを食用にするのは一部の地域に限られるのかと改めて思いました。一方でウワミズザクラや木の芽(アケビ)マタタビにしても我が地域食の多様性にも気付いた次第です。加えてもう一つ、春マタタビの新芽は天ぷらに最高です。



## 津南まつり〜!!

今年は58名の大行列となり、民謡流しに日本食研(株)津南営業所の皆さんと一緒に参加いたしました。

日本食研(株)の“バンコちゃん”と津南町の“つなっぺ”の登場で沿道の子供達も大興奮!!民謡流しの後は、慰労会も行われ日本食研(株)の皆さんとの交流も一層深められました。曇り空の天気でしたが、晴れ男、晴れ女のおかげで、無事に踊りきることができました。



## お知らせ

### お盆休み等の日程

8月11日(金) …………… 祝日  
 8月12日(土)~13日(日) …… 休日  
 8月14日(月)~16日(水) …… お盆休み

## 職員紹介

●きのこ部 ●  
かずしげ  
 涌井一重(相吉)



『仕事上、朝が早かったり、夜も遅い日があるので大変です。』きのこ培養業務を担当して勤続14年のチョコベテラン。『きのこの培養は温度管理がとても重要なので、生産者の方々に良い状態でお届けできるように、これからも気を付けながら管理して行きたいと思います。』と、熱い心を燃やしているクールなイケメン!!プライベートでは、1児のパパ。最近一番うれしかった事は、『父の日に初めて子供から似顔絵をもらった事(^.^)』との事。毎日忙しい中で、子供と散歩に行く事が一番の気分転換と子煩悩な一面も見せてくれました(^.^)。今後の組合を担う期待のエース、津南産きのこの安心安全を目指し、今日も仕事に打ち込みます。

## あとがき



今年の夏の始まりは、集中豪雨から始まりました。福岡、愛知、新潟、東京と各地を異常気象が襲い沢山の被害をもたらしました。毎日なに不自由なく暮らしている私たち、私たちが便利に暮らしている反面、地球を取り巻く環境が少しずつ変わってきています。大気汚染や水質汚染に伴う地球温暖化。津南には生息していなかった動物たちも北上してきています。とても小さな変化かもしれませんが、もっと自然に向き合っていきたいという地球からのSOSなのかもしれません。